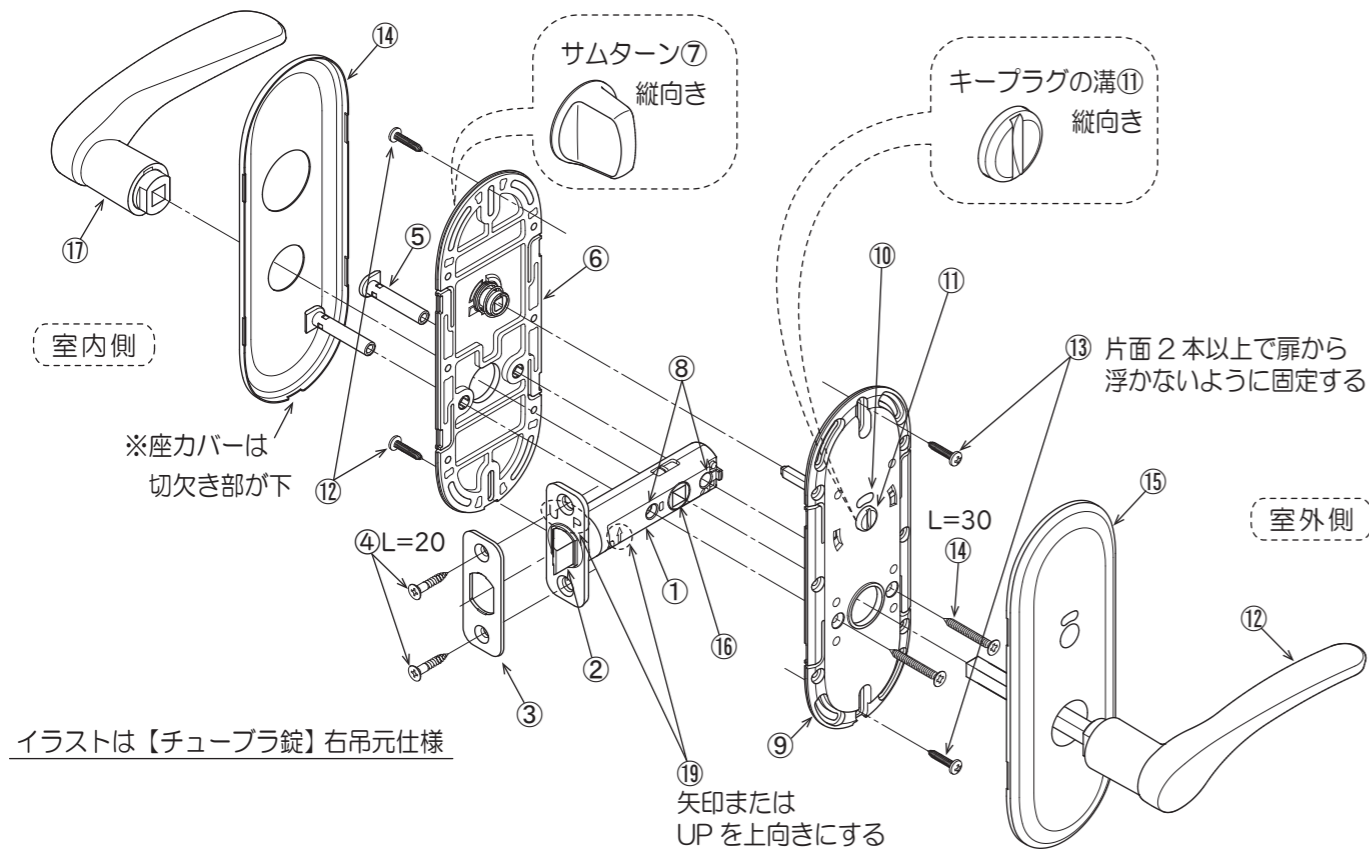


# R座 チューブラ錠 室内レバー set 取付説明書

## 取付上の注意

- ※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。
- ※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。

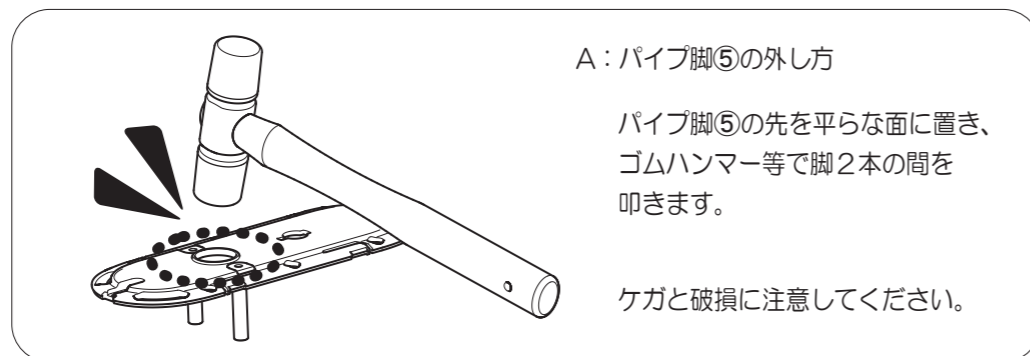


## 1 吊元の確認と錠の取り付け

1. 「左吊元」の場合は、錠①のラッチボルト②を廻してあわせてください。
2. 錠①を、矢印またはUP⑯を上向きにして扉加工部に差し込みます。
3. 錠①とフロント板③をあわせて、固定ねじ (L=20)④2本で取り付けます。

### 【パイプ脚⑤の使い分け方】

1. 本製品は、室内側補強座⑥をパイプ脚⑤なしでも取り付けられます。既存金物からのお取り替え等で、既に切欠穴が開いており、切欠穴の幅が40mm以下の場合ではパイプ脚⑤は不要です。
2. パイプ脚⑤を誤って取り付けしてしまった場合は、右下『A：パイプ脚⑤の外し方』を参考に、脚の先を机などの平らな面に置き、ゴムハンマー等でパイプ脚2本の間を叩くと外せます (ケガと破損に注意してください)。



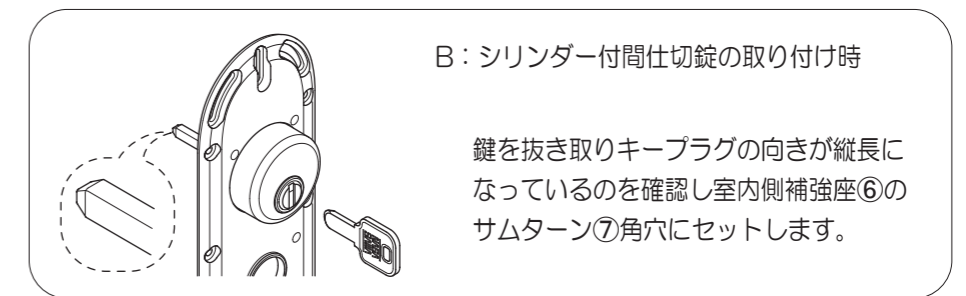
## 2 座の取り付け

- 【パイプ脚⑤なし】1. 室内側補強座⑥を室内側にセットします (セット時、サムターンツマミ⑦は縦向き)。  
 【パイプ脚⑤あり】1. パイプ脚⑤を室内側補強座⑥の脚部にセットし、錠ガイド穴⑧に差し込みます (差し込み時、サムターンツマミ⑦は縦向き)。

2. 室外側補強座⑨をセットします (表示錠の時、表示⑩は青、キープラグ溝⑪は縦向き。シリンダー付間仕切錠の時は右下『B：シリンダー付間仕切錠の取り付け時』を参考にセットしてください)。

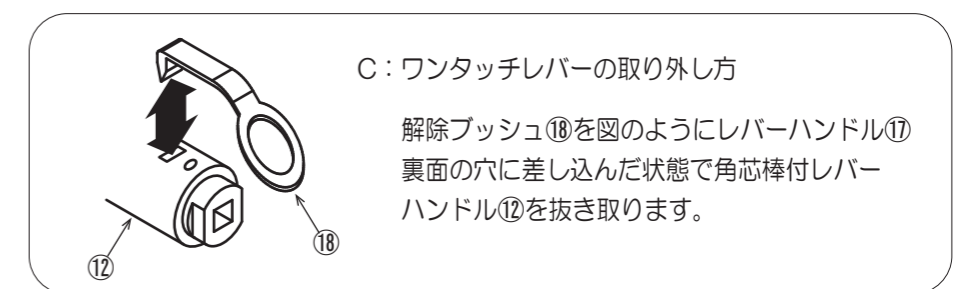
**⚠** 角芯棒側レバーハンドル⑫を仮セットし、錠が正常に作動することを確認してください。補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。

3. 補強座の固定位置を確認し、補強座を、固定ねじ⑬4~8本と、引張ねじ (L=30)⑭2本 (パイプ脚⑤を使用しない場合は不要) で取り付けます。  
 ※ 補強座固定ねじ⑬の取り付け位置は、扉の切欠穴に合わせて選べます。扉から浮かないように取り付けてください。
4. 仮固定のレバーを外し、座力バー⑭⑮を嵌め込みます。『切欠き部が下』に注意してください。



## 3 ワンタッチレバーハンドルの取り付け

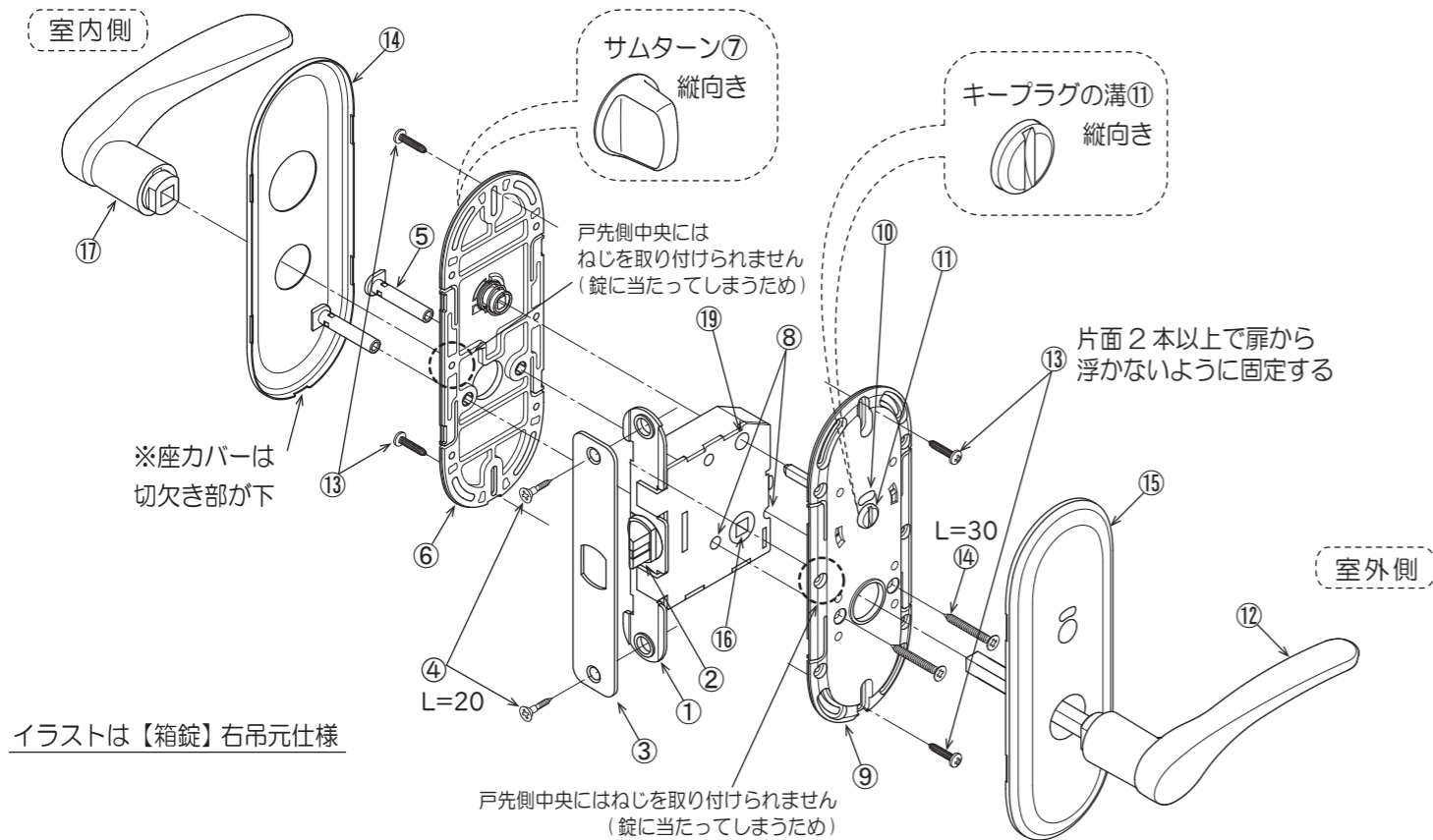
1. 角芯棒付レバーハンドル⑫を錠角穴部⑯に差し込みます。反対側レバーハンドル⑰をセットしてください。  
 ※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は右下『C：ワンタッチレバーの取り外し方』を参考にゆるめ、適正な位置にあわせてご使用ください。



# R座 箱錠 室内レバー set 取付説明書

## 取付上の注意

※ 締め付けの際は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。  
 ねじ穴の破損および錠・座本体などを傷めるおそれがあります。  
 ※ 取付ねじ等は、しっかりと固定し飛び出しのないように取り付けてください。



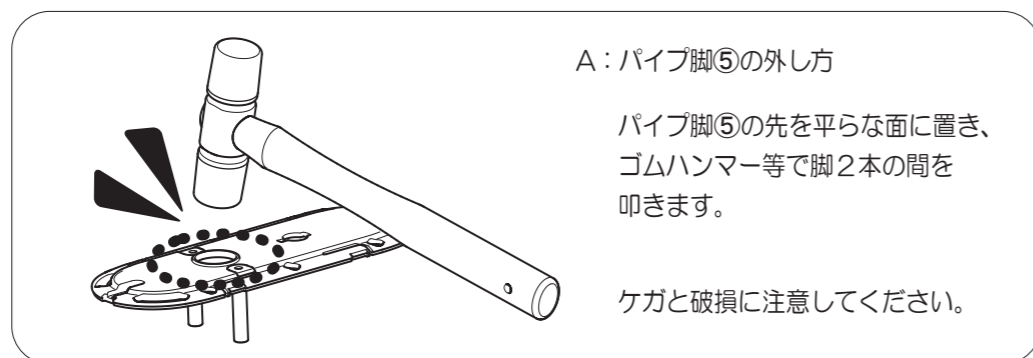
イラストは【箱錠】右吊元仕様

## 1 吊元の確認と錠の取り付け

1. 「左吊元」の場合は、錠①のラッチボルト②を廻してあわせてください。
2. 錠①を、扉加工部に差し込みます。
3. 錠①とフロント板③をあわせて、固定ねじ (L=20)④2本で取り付けます。

### 【パイプ脚⑤の使い分け方】

1. 本製品は、室内側補強座⑥をパイプ脚⑤なしでも取り付けられます。既存金物からのお取り替え等で、既に切欠穴が開いており、切欠穴の幅が40mm以下の場合ではパイプ脚⑤は不要です。
2. パイプ脚⑤を誤って取り付けしてしまった場合は、右下『A：パイプ脚⑤の外し方』を参考に、脚の先を机などの平らな面に置き、ゴムハンマー等でパイプ脚2本の間を叩くと外せます (ケガと破損に注意してください)。



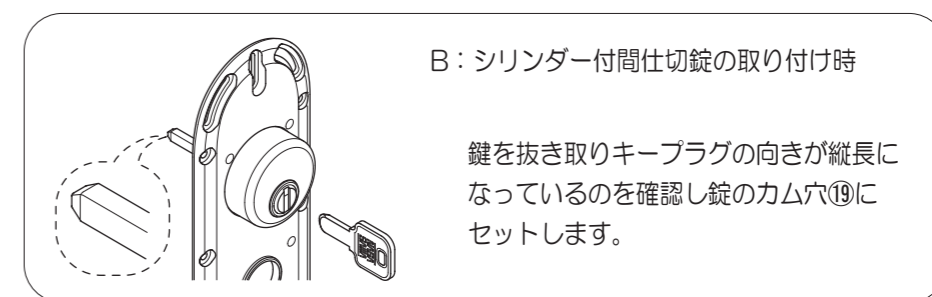
## 2 座の取り付け

- 【パイプ脚⑤なし】1. 室内側補強座⑥を室内側にセットします (セット時、サムターンツマミ⑦は縦向き)。  
 【パイプ脚⑤あり】1. パイプ脚⑤を室内側補強座⑥の脚部にセットし、錠ガイド穴⑧に差し込みます (差し込み時、サムターンツマミ⑦は縦向き)。

2. 室外側補強座⑨をセットします (表示錠の時、表示⑩は青、キープラグ溝⑪は縦向き。シリンダー付間仕切錠の時は右下『B：シリンダー付間仕切錠の取り付け時』を参考にセットしてください)。

**⚠** 角芯棒側レバーハンドル⑫を仮セットし、錠が正常に作動することを確認してください。補強座の固定位置が確認できます。固定位置がずれると、レバーハンドルの動きに支障がでることがあります。

3. 補強座の固定位置を確認し、補強座を、固定ねじ⑬4~8本と、引張ねじ (L=30)⑭2本 (パイプ脚⑤を使用しない場合は不要) で取り付けます。  
 ※ 補強座固定ねじ⑬の取り付け位置は、扉の切欠穴に合わせて選べます。扉から浮かないように取り付けてください。
4. 仮固定のレバーを外し、座力バー⑭⑮を嵌め込みます。『切欠き部が下』に注意してください。



## 3 ワンタッチレバーハンドルの取り付け

1. 角芯棒付レバーハンドル⑫を錠角穴部⑱に差し込みます。反対側レバーハンドル⑰をセットしてください。  
 ※ ハンドルセットは、軽く差し込むだけで固定されます。強く押さえ過ぎると動きに支障がでることがあります。その時は右下『C：ワンタッチレバーの取り外し方』を参考にゆるめ、適正な位置にあわせてご使用ください。

